

奈良県

奈良県退職校園長会

結成 昭和40年9月26日

◇ 本会の目的

本会は本県教育の振興に寄与し、併せて会員相互の親睦と福祉を増進する。

◇ 役員組織

顧問2名、会長1名、副会長3名（小・中・高校）、監事2名、常任理事8名（含事務局長、会計）、理事（19郡市）40名。

◇ 創設からの歩み

◇昭和30年代後半に全日本教育推進連盟等があり、その頃本県より数名が参加。また、昭和39年頃より全国連合退職校長会結成の動きに、退職校長の有志が退職時の小中高校長へ呼びかけ、翌年結成に呼応して奈良県退職校長会が昭和40年9月26日、知事や多数の来賓と126名の出席者のもと結成大会が催され、会則制定、役員選出、宣言決議、会は発足した。事務局は当初、大和経済クラブ、後に会長宅、事務局長宅と移転した。

◇昭和40年～

・初代会長に中江左右一氏就任。組織強化のため支部作りと郡市理事を選出。

◇昭和50年～

・県会報第1号発行（昭和52）現在150号・会員名簿第1号発刊（昭和51）・家庭教育相談室・結婚相談室の開設（昭和53・54）・創設20周年記念特集号発行・長寿者祝福（昭和54年）・退職幼稚園長を会員に迎え、奈良県退職校園長会と改称（昭和59）

◇平成10年～

・「奈良県教育の日」の制定。平成12年全連退の「教育の日」制定の意向に添い全国統一的制定を知事や県教育委員会に強く要望。その後、奈良市が平成14年12月2日「なら教育の日」を制定、翌年の平成15年11月1日、県は「奈良県教育の日」を委員会告示により制定。本会は制定後「奈良県教育の日」の週間に県民対象の教育講演会を毎年開催、県民の教育への意識と関心を高めさせるとともに地域の教育支援に努めた。

・全連退近畿地区協議会奈良大会開催（奈良県担当）平成12年度「各府県の活動状況」、平成18年度「会員の親睦や研修事業の推進」を議題に協議会を開催。

・会員の親睦事業の囲碁大会開催（第1回平成14年 現在第13回）京都市とも交流。

・会員名簿第8号（14年度）以後は個人情報保護により発行停止、新入会員名簿は発行。

◇平成20年～

・「奈良人材バンク」設立（17年度）、更に「奈良人材バンク2013」として発展的活動。

・全連退近畿地区奈良大会開催（奈良県担当）（平成24年度）「活力ある組織と人材育成」

・会の活性化に5地区グループを編成し、実行委員会を持ち事業を推進する（22年度）

◇平成27年 本会創設50周年の式典と祝典を挙行。50周年を祝うと共に足跡を振り返り、更なる本会の発展と啓蒙の機会とし、会員の英知を活動に生かし、推進する。



東大寺と鏡池